



暮らしと道具の

うつりかわり



メンコ (当館蔵)

「おもちゃ」の語源は、平安時代の「もてあそぶ(手に持って遊ぶ)」行為で、室町時代に「もちあそぶもの」から生まれたとされています。おもちゃを使う遊びは、子どもたちにとって楽しい時間であると同時に、体験を通してさまざまなことを学ぶ機会でもあります。

本展では、戦後のおもちゃを中心に、その種類や遊び方を振り返り、子どもたちが遊びから何を学んでいたのかを考えます。

令和6年11月1日(金)～12月27日(金)

入館料 常設展と合わせて御覧になれます。

高校生以下・65歳以上：無料

※ 20名以上は団体料金

※ 文化の日(11月3日)は無料。

秋の特別企画展「古代を駆ける馬」は、別料金です。

休館日 月曜日(ただし、11月4日〔振替休日〕は開館)、11月5日(火)

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

展示解説会 11月23日(土・祝)、12月7日(土)

いずれも14時～14時30分(解説:当館職員)



様々なおもちゃ(当館蔵)

<アクセス>

<自家用車>:三次ICから約10分、三次東JCT・ICから約20分、三良坂ICから約10分

<タクシー>:三次駅から約15分

<バス>:三次駅から廻神経由三和支所行き又は上田小跡行きに乗車、風土記の丘入口下車
(日・祝運休)

<JR>:JR芸備線神杉駅下車、徒歩約3km



みよし風土記の丘ミュージアム
(広島県立歴史民俗資料館)

〒729-6216 広島県三次市小田幸町122

TEL:0824-66-2881 FAX:0824-66-3106

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekimin/>

